



## 共同研究施設紹介

### 大阪府立急性期総合医療センター EPO-AMI-II試験によせて



研修医からレジデントにかけて循環器研修をしていたころを思い出します。もう20年前になるでしょうか？ 私が研修していた大阪地域では早くからプライマリーPCIによる血行再建が盛んであった時期のことです。大学では動物モデルを用いた、虚血プレコンディショニングによる心筋梗塞縮小効果、薬剤投与による心筋梗塞縮小効果などの華々しい研究が多く行われていました。しかしながら、それを臨床の場へ還元するのはなかなか難しい、というのが現実であったように思われます。心筋梗塞を作成する前に何らかの介入を必要とされたからです。

EPO-AMI-II試験に期待するところはとても大きいものです。臨床の場で緊急で搬送された患者さんに対して、通常の手順でプライマリーPCIによる血行再建を施行した上で、急性期にエポエチンベータを単回投与（ブラッシュを含む二重盲検）するというプロトコルだからです。現実味があり、良い結果が出れば直ちに臨床に還元される可能性が期待できます。薬剤そのものも数千円程度であり、また腎性貧血の多くの患者さんへ投与されて薬剤であるため安全性にも問題がないでしょう。

医師主導型試験でありながら、日本循環器学会、厚生労働省、文部科学省の全面的なサポートを受け、さらに先進医療Bの認定を受けておられるそうです。この枠組みを作り上げられた先生方の御努力に敬服するばかりです。そしてその試験に本院が参加できるということに対して大変光栄に感じており、微力ながら可能な限り参加・協力させていただきたいと思っております。

幸い院内の協力体制に恵まれており、薬局からの払い出しを含めて、1年365日24時間体制でいつでも投与できる状況にあります。亜急性期のRI検査についても画像診断科（放射線科）が協力的で、プロトコル日程内に施行することにも問題ありません。適応基準に合致する症例については今後も積極的に登録させていただきたいと思っております。本試験の成功に期待しております。

大阪府立急性期・総合医療センター  
心臓内科 森田幸



心臓内科スタッフ

## 新着情報

- ✓ 共同研究施設紹介第4回は、大阪府立急性期総合医療センターにお願いさせていただきました。ご多忙中、当臨床試験への温かいお言葉をいただき誠にありがとうございました。

## 臨床試験進行状況

登録症例数	<b>80症例</b>
EPO-AMI-II臨床試験参加施設	全24施設
倫理委員会通過施設	23施設 / 24施設
症例登録開始可能施設	21施設 / 24施設
高度医療申請通過施設(11月度まで)	21施設 / 24施設

EPO-AMI-II 研究事務局  
大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学  
〒565-0871大阪府吹田市山田丘2-2

TEL: 06-6879-3635 (平日9:00-17:00)  
FAX: 06-6879-3639  
緊急時: 090-1673-1037  
[epoami2office@umin.ac.jp](mailto:epoami2office@umin.ac.jp)